

A0784
103系1200番台 東西線 青帯・冷房車

主な走行都市



品番	A0784			
JANコード	107706			
商品名	103系1200番台 東西線 青帯・冷房車			
商品系形態	塗装済完成品			
素材	ABS樹脂			
予価	19,000円(税別)			
規格	N			
対象年齢	8歳以上			
カートン内入数	12			
実車	<p>103系は駅間距離の短い線区で使用することを前提とし、高い経済性を重点に置いた通勤型電車として1963年から製作が開始されました。車体は101系を基本としていますが、主電動機の増強や歯数比を大きくし加減速性能を高めた設計となっています。103系は以後の通勤型電車の標準タイプとして、1981年までに3,142両が増備されたため多くのバリエーションがあります。現在置き換えが進行し徐々に数を減らしています。</p> <p>1200番台は301系の後継として営団東西線相互乗り入れ運転用に開発されたグループで、1000番台同様A-A基準化(不燃化・前面貫通化)や主抵抗器の自然通風式化等の設計変更変更が図られています。後継のE231系800番台投入に伴い2003年5月までに運用を離脱しました。</p> <p>当セットは1990年1月頃冷改・青帯化された後、1991年11月頃松戸電車区に転属されるまでの姿を再現しています。その後1993年4月に廃車となりました。</p>			
商品	<p>マイクロエース通勤電車シリーズの更なる充実。</p> <p>103系1200番台の青帯化・冷房改造後の姿がプロトタイプ。</p> <p>ボディにはグレー塗装の上に水色の細帯を美しく印刷。</p> <p>屋根は冷房化後の仕様。インバータークーラーが並ぶ屋根上を再現。</p> <p>先頭車屋根には信号煙管、列車無線アンテナを取り付け。</p> <p>妻面貫通扉は銀色で塗装。</p> <p>側面はクモハ102-1200を除き側面方向幕が設けられた仕様。</p> <p>実車に則し、クモハ102-1200は側面方向幕無しのボディを新規作成。</p> <p>モハ102-1200、モハ103-1200を異なるボディで作り分け。</p> <p>モハ103-1200は自然抵抗器が並ぶ床下機器、ヒューズ箱が付いた専用屋根を新規作成。</p> <p>モハ102-1201・クモハ102-1201とモハ102-1202で異なる床下MG形状を実車に則して作り分け。</p> <p>室内には吊り革を再現。</p> <p>床下機器に各種標記を印刷。</p> <p>足下が引き締まる黒染車輪を採用。</p> <p>ヘッドライト2灯・方向幕・運行番号幕・テールライト2灯点灯(ON-OFFスイッチ付き)。</p>			
パッケージ	7両用ブックケース			
関連商品	<p>A0770 国鉄103系1000番台 千代田線 基本6両セット</p> <p>A0771 国鉄103系1000番台 千代田線 増結4両セット</p> <p>A0787 105系500番台 和歌山線 フルーツ列車</p>			
編成	クハ103-1201	ヘッドライト・テールライト	モハ103-1202	
	モハ103-1201	パンタグラフ	モハ102-1202	パンタグラフ
	モハ102-1201	モーター車	クモハ102-1201	ヘッドライト・テールライト
	モハ102-1201	パンタグラフ		
特記事項	JR東日本商品化許諾済			